

産総研

MPIが拓く、

終了しました

マテリアルスタートアップ

参加無料

産総研MPI事業の紹介とともに、材料系スタートアップ(株)ナノシーズの成長事例を紹介いたします。

MPIとは？：マテリアル・プロセスイノベーションプラットフォームの略で、材料開発や実装に必要な施設、さらに加工データの取得や関連人材育成等を総合的に提供する事業です。

日時：2024年12月25日(水)15:00～

場所：サイエンス交流プラザ&オンライン

定員：会場30名、オンライン100名

こんな方におすすめします！

- ・セラミックス、合金などの材料開発に取り組んでいる方
- ・新規事業を考えている方
- ・産総研究所MPIについて知りたい方

プログラム

15：00 開会

- ・あいさつ、主催者事業紹介

- ・産総研 MPI・活用事例の紹介

～製造から評価まで一気通貫で開発する装置群を備えた拠点～
産業技術総合研究所 中部センター所長 松原 一郎

- ・材料系スタートアップ紹介

～3Dプリンタに用いる粉体材料の物性評価 評価手法と応用事例～
(株)ナノシーズ 代表取締役 島田 泰拓

- ・中小機構スタートアップ支援施策の紹介

中小企業基盤整備機構中部本部企業支援部支援推進課
課長代理 林 高行

16：30 閉会

～製造から評価まで一気通貫で開発する装置群を備えた拠点～



産業技術総合研究所
中部センター所長 松原 一郎

産総研中部センターでは、高い世界シェアを持っている日本のセラミックス・金属材料を活用する製品素材産業への貢献のために、原料から製品に至るまでのプロセスデータを一気通貫で収集するデータ駆動型材料研究開発により、製造プロセス改善や分析ができるMPIプラットフォームの活用推進を進めています。

～3Dプリンタに用いる粉体材料の物性評価 評価手法と応用事例～



(株)ナノシーズ 工学博士
代表取締役 島田 泰拓

産総研に研究員として採用された後、2005年に産総研発ベンチャーとしてナノシーズを起業。電子材料の物性分析を得意とするディープテックベンチャーとして、スローではあるが着実な成長を持続中。16年間で約400社の上場企業等の顧客を獲得。専門は「粉体工学」でリチウムイオン電池、全固体電池、燃料電池の材料についての物性分析が得意。